

WS-05(要旨) ハンズオンワークショップ：ICTを用いた教育ツール  
Hands-on workshop: ICT-based educational tools

司会：椎橋 実智男 (埼玉医科大学)

2020年春からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年度は多くの大学や教育機関で遠隔授業の実施を余儀なくされた。教育を行う側、受ける側ともに手探りで教育が実施されたにもかかわらず、双方の努力によって危機的状況を乗り越えた。これらの経験から多くの学びやノウハウを得た1年であった。また、対面式が最も良い授業形態であるという教員の先入観は打ち砕かれ、遠隔授業であるからこそできること、場合によっては遠隔授業の方が対面に勝ることもあることを知らされた1年でもあった。

本ワークショップは、ICTを活用した医学教育の発展に寄与することを目的に第21期から医学教育学会に設置されたICT教育部会が開催するものであり、上記の状況の中で得られたICT活用のノウハウを紹介・共有することを目的とし、以下の3部構成で行う。

1) 導入セッション

全員が同じセッションに参加し、ICT活用の事例を全体で共有する。

- ・新任教員向けフルオンラインFDの紹介 (オンデマンド+ moodle + web 会議システム)
- ・オンライン試験

2) テーマ別セッション

以下の3テーマから興味ある1つのセッションに参加し、ICT活用の事例などを共有する。

- テーマ1：LMS (Learning Management System)
  - ・Google Classroom を用いた初期臨床研修医の教育
  - ・WebClass を用いた反転授業
- テーマ2：web 会議システム (Zoom)
  - ・Zoom を用いたオンラインワークショップ
  - ・Zoom・LMS・eポートフォリオを組み合わせた教育実践
- テーマ3：よろず相談室
  - ・困った経験の共有
  - ・教材作成ツールの紹介と活用事例

3) テーマ別WSセッション

以下の3テーマから興味ある1つのセッションに参加し、一部はハンズオンの形式で体験とディスカッションを行う。

- テーマ1：LMSの活用
- テーマ2：Zoomの活用術
- テーマ3：参加者が困った体験の解決法を考える

医学教育学会が誇る(?) 当部会のエキスパートとともにICT教育ツールの使い方を学んでみませんか。

ファシリテーター：西屋 克己 (関西医科大学)

Katsumi Nishiyu (Kansai Medical University)

浅田 義和 (自治医科大学)

Yoshikazu Asada (Jichi Medical University)

大久保 由美子 (帝京大学)

Yumiko Okubo (Teikyo University)

小林 直人 (愛媛大学)

Naoto Kobayashi (Ehime University)

橋本 忠幸 (橋本市民病院)

Tadayuki Hashimoto (Hashimoto Municipal Hospital)

藤田 博一 (高知大学)

Hirokazu Fujita (Kochi University)

BREUGELMANS RAOUL (東京医科大学)

BREUGELMANS RAOUL (Tokyo Medical University)

松下 毅彦 (埼玉医科大学)

Takehiko Matsushita (Saitama Medical University)

村岡 千種 (北海道科学大学)

Chikusa Muraoka (Hokkaido University of Science)

門川 俊明 (慶應義塾大学)

Toshiaki Monkawa (Keio University)

山本 憲 (京都大学)

Akira Yamamoto (Kyoto University)